

添付資料 アンケート調査票

研究開発の外部連携に関するアンケート調査

ご記入にあたり

- 1) 本アンケートは、貴社の研究開発実態に詳しいお立場の方（例：研究開発の管理部門、企画開発部門等）にお答え頂ければ幸いです。
- 2) ご回答は、直接選択項目の番号に○印で囲むか、記入欄にご記入下さい。
- 3) 本アンケートには子会社・関連会社の数字は含めず、貴社単独の数字等をご記入下さい。また特に時期を明記していない場合、平成16年3月1日現在の数値をご記入下さい
- 4) アンケートで得た個別企業の回答結果ならびに回答票そのものの秘密は厳守いたします。
- 5) **ご回答後は、同封の返信用封筒にて3月12日（金）までにご投函下さい。**

■最初に貴社の概要をご記入下さい

貴社名		
事社所在地 〒		
ご回答者	お名前	所属部署・お役職
	連絡先電話番号	
会社設立	西暦	年
従業員数	人 ● 正社員の他に臨時職員も含めます	
年間売上高		百万円
研究開発費率	％ ● 研究開発費（人件費含む）÷売上高の数値で算出	
特許保有件数	件 ● 経営者名で登録する特許、外国特許も含めます。保有されてない場合は「0」とご記入下さい。	
主たる業種	● 下の選択肢から、最も売上高の多いもの <u>一つだけ</u> を選び下さい	

製造業

1. 食品工業
2. 繊維工業
3. パルプ・紙工業
4. 印刷業
5. 医薬品工業
6. 総合化学・化学繊維工業
7. 油脂・塗料工業
8. その他の化学工業
9. 石油製品・石炭製品工業
10. プラスチック製品工業
11. ゴム製品工業
12. 窯業
13. 鉄鋼業

14. 非鉄金属工業

15. 金属製品工業
16. 機械工業
17. 電子応用・電気計測機器工業
18. その他の電気機械器具工業
19. 情報通信機械器具工業
20. 電子部品・デバイス工業
21. 自動車工業
22. 自動車以外の運送用機械工業
23. 精密機械工業
24. その他の工業

非製造業

25. 農林水産業
26. 鉱業

27. 建設業

28. 電気・ガス・熱供給・水道業
29. ソフトウェア・情報処理業
30. 通信業
31. 放送業
32. 新聞・出版・その他の情報通信業
33. 運輸業
34. 卸売・小売業
35. 金融・保険業
36. 不動産業
37. 飲食店・宿泊業
38. 学術・開発研究機関
39. その他のサービス業
40. その他の業種

本アンケートは研究開発を行っている企業を対象としています。貴社で調査研究を実施していない場合は、お手数ですが右の枠にチェックしてそのままご返送下さい

☐

1 共同研究、委託研究について

Q1. 研究開発について外部機関との共同研究や委託研究は実施していますか（○はひとつ）

1. 実施している 2. 実施していない → 次ページの Q7 へ

Q2. 共同研究や委託研究のための支出は貴社の研究開発費のおおよそ何%を占めていますか（○はひとつ）

1. 50%以上 4. 5%以上 10%未満
2. 20%以上 50%未満 5. 5%未満
3. 10%以上 20%未満

Q3. 5年前の共同研究や委託研究のための支出はおおよそ何%を占めていましたか（○はひとつ）

1. 50%以上 4. 5%以上 10%未満
2. 20%以上 50%未満 5. 5%未満
3. 10%以上 20%未満

Q4. どのような相手先と共同研究や委託研究を行っていますか。5年前と現在それぞれについて、該当する欄に○を付けて下さい。

連携の相手先	a. 5 年前	b. 現在
①大企業 (海外含む)		
②中小企業やベンチャー企業 (海外含む)		
③大学 (海外含む)		
④国立試験研究機関 (独立行政法人を含む)		
⑤公設試験機関		

Q5. これまで取り組んだ共同研究や委託研究は、どの程度先の商品化を睨んで行ったものですか。右の選択肢から該当する期間の番号をご記入下さい（各項目ひとつ記入）

連携の相手先	商品化の目途 (記入はひとつ)
①大企業 (海外含む)	
②中小企業やベンチャー企業 (海外含む)	
③大学 (海外含む)	
④国立試験研究機関 (独立行政法人を含む)	
⑤公設試験機関	

1. 1 年以内
2. 2～3 年程度先
3. 5 年度先
4. 10 年程度先
5. 商品化を念頭においたものではない

Q6. これまで取り組んだ共同研究や受託・委託研究によって、貴社ではどのような効果がありましたか。右の選択肢から該当する番号を記入してください（各項目3つ以内で記入）

連携の相手先	連携の効果 ※該当する番号を記入 (3つ以内)		
①大企業 (海外含む)			
②中小企業やベンチャー企業 (海外含む)			
③大学 (海外含む)			
④国立試験研究機関 (独立行政法人を含む)			
⑤公設試験機関			

1. 自社単独でも行える研究スピードの向上
2. 自社単独でも行える研究コストの削減
3. 自社単独では行えない研究開発の実施
4. 自社にない専門的な知識・技術の習得
5. 自社の研究人材の育成につながった
6. 自社にない試験・設備を利用
7. 新商品の開発につながった
8. 新しい研究開発テーマの発掘ができた
9. 効果はなかった

Q7 a. 共同研究や委託研究に対する今後の意向を教えてください。(現在共同研究や委託研究を行っていない方は、今後取り組む意志のある場合は「1.増加」と、今後も予定がない場合は「2.現状並」とお答え下さい)

b. また「1.増加」と答えた方は、下の選択肢からその主な理由を選んでください

連携の相手先	a. 今後の意向 (○は一つだけ)	b. 増加理由 ※「増加」の方のみ下記選択肢から該当する番号を記入(記入は3つ以内)
①大企業(海外含む)	1.増加 2.現状並 3.減少	
②中小企業やベンチャー企業(海外含む)	1.増加 2.現状並 3.減少	
③大学(海外含む)	1.増加 2.現状並 3.減少	
④国立試験研究機関(独立行政法人を含む)	1.増加 2.現状並 3.減少	
⑤公設試験機関	1.増加 2.現状並 3.減少	

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 激化する研究開発競争に対応するため | 6. 自社の基礎研究レベルの向上に必要 |
| 2. 研究開発のコスト面の効率化 | 7. 連携先の基礎研究成果が必要 |
| 3. 単独では研究資金が不足するから | 8. 産学連携に関する公的助成の充実 |
| 4. 連携先のレベル上昇・実用性向上 | 9. これまでの連携の成果が大きかったから |
| 5. 「スタンダード」を目指すための連携 | 10. 連携先の情報を探るのが容易になった |

Q8. 共同研究や委託研究を進めるにあたってどのような課題があるとお考えですか。右の選択肢から該当する番号を記入してください(3つ以内)

連携の相手先	連携の課題 (記入は3つ以内)
①大企業(海外含む)	
②中小企業やベンチャー企業(海外含む)	
③大学(海外含む)	
④国立試験研究機関(独立行政法人を含む)	
⑤公設試験機関	

- 研究資金の不足
- 研究開発全体の縮小
- 自社の能力が不足
- 外部連携を戦略的に行っていない
- 連携先の技術レベルが不足
- 連携先の研究内容が実用的でない
- 連携先が共同研究に不慣れ
- 自社技術漏洩の恐れがある
- 知的所有権を巡る問題の可能性
- 契約手続きが煩雑

2

知的財産[※]の活用について

※「知的財産」は特許権、実用新案権、著作権、ノウハウを意味しています

Q9. 現在貴社では、他社・他機関が保有する知的財産の利用許諾を受けていますか(○はひとつ)

※クロスライセンス等によって無償で許諾を受けたものも含める

1. 受けている

2. 受けていない

→ Q12へ

Q10. 貴社が利用する知的財産のうち、他社・他機関から許諾を受けている割合はどれくらいですか(○はひとつ)

- 利用件数の50%以上
- 利用件数の20%以上50%未満
- 利用件数の10%以上20%未満
- 利用件数の5%以上10%未満
- 利用件数の5%未満

Q11 a. 現在、貴社が受けている知的財産の割合を相手先別に下の選択肢からお選び下さい

b. また、ここ5年間でそのシェアの変化を教えてください

相手先	a.割合（記入はひとつ）	b.シェアの推移（○はひとつ）
①大企業(国内)		1.増加 2.不変 3.減少
②中小企業やベンチャー企業(国内)		1.増加 2.不変 3.減少
③大学（TLO含む）(国内)		1.増加 2.不変 3.減少
④海外の企業・大学		1.増加 2.不変 3.減少

- 1.貴社が受けている知的財産の半分以上
2.貴社が受けている知的財産の半分
3.貴社が受けている知的財産の2～3割程度

- 4.貴社が受けている知的財産の1割程度
5.貴社が受けている知的財産のごく少数
6.他から知的財産は受けていない

3 自社研究開発と外部連携について

Q12. 研究開発を進める上で、貴社が特に重視していることは何ですか。また5年前と比較して重要性が高まっている項目はどれですか。下の選択肢から該当するものをご記入下さい（各3つ以内）

①現在重視している項目は

②5年前と比べ重要性が高まっているのは

1. 開発リードタイムの短縮
2. 研究開発テーマの絞り込み
3. 研究開発コストの圧縮
4. 研究スタッフの省人化
5. 新分野の研究テーマの発掘
6. 基礎研究から応用研究へのシフト
7. 基礎的研究開発能力の向上
8. 市場ニーズを取り込んだ研究開発
9. 自社シーズの市場化

Q13. （外部連携している方にお聞きします）貴社が行っている研究体制の欄に、そこで取り組んでいる研究内容として近いものを右の選択肢から選んでご記入下さい（各3つ以内）

自社開発、相手先別外部連携	研究開発の内容
①自社開発	
②大企業との外部連携	
③中小企業やベンチャー企業との外部連携	
④大学、国立試験期間などとの外部連携	
⑤公設試験所との外部連携	

- 1.商品化に近い段階の研究開発
2.基礎的な研究開発
3.スピードを重視する研究開発
4.自社のコア技術開発
5.自社技術の周辺分野の研究開発
6.自社にない新規分野の研究開発
7.研究開発の低コスト化
8.最先端技術の研究開発
9.既存技術の習得

Q14. 最近5年間の研究開発を巡る状況変化をどのようにお感じですか。それぞれの項目について程度に応じて5段階で評価してください（各項目○はひとつ）

	特に感じない ←──				
--	--	--	--	--	--

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。